

## ユニバーサルツーリズム促進に対する課題（論点）〈案〉

	論 点
1. 団体(単体)の運営について	<p><b>①一定水準のサービスの確保</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆地域の支援団体（NPO等）について、サービスレベル、サービス内容が異なる状況が見られる。</li> <li>◆組織により対応する障害のレベル、視覚障がい者への対応の有無など、対象者の考え方に違いがある。</li> </ul> <p>⇒サービスレベル、内容の違いや、対象者の考え方など一定水準のサービスの確保について。</p> <p><b>②安定的な運営の確保</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆バリアフリーツアーセンター等の相談業務を中心とするユニバーサルツーリズム対応だけでは、安定的に運営することは難しい。</li> <li>◆現状ボランティアベースで活動している団体も見受けられる。</li> <li>◆運営には、最低限人件費、家賃、調査費などがかかる。安定した運営を行うための収入源は必要。</li> <li>◆行政（自治体等）からの委託、補助、助成に依存している場合、基本的に単年度予算のため、事業の継続性に課題がある場合がある。</li> </ul> <p>⇒ユニバーサルツーリズムに関わる業務を安定的に実施するための運営手法、関係者との連携について。</p> <p><b>③人材の育成</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆現状では、運営上のノウハウ、スキル、経験は全国で見ても数人の特定個人に集中している状況が見られる。</li> </ul> <p>⇒ユニバーサルツーリズムの普及促進の観点から、ナレッジマネジメントや後継者の育成等。</p>
2. 団体間の連携等について	<p><b>①団体間の連携／情報の共有</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆全国ネットワークを活かした横の連携は各グループで積極的に推進しようと取り組まれており、顧客の紹介や顧客情報の共通フォーマットによる管理等が進められている。</li> </ul> <p>⇒グループ内、グループ間の連携、その他ユニバーサルツーリズムを促進させるために必要な連携について。</p>
3. 旅行事業者との連携について	<p><b>①旅行事業者との連携</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆旅行事業者との連携は、一部の特定者間に限定されている。</li> </ul> <p>⇒旅行当事者負担の軽減やサービスの拡充、マーケットの拡大等の観点から、地域の支援団体（NPO等）と旅行事業者との連携の可能性について、連携の内容、方法や連携にあたっての課題（それぞれの立場で求めるもの）等。</p>
4. 宿泊事業者等との連携について	<p><b>①宿泊事業者等との連携</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆地域の支援団体（NPO等）は、相談業務の中で適宜、宿泊事業者、交通サービス、福祉施設等と連携しており、紹介・斡旋を実施している。</li> <li>◆またバリアフリー研修や、建物のバリアフリー改修アドバイス等により、人材育成を図り協力者を増やし、施設のバリアフリー化を進めるなど、地域全体としてのレベルを上げていく取組みが行われている。</li> </ul> <p>⇒宿泊事業者等との連携手法について、取組みが上手くいっていない団体や関係者、今後取組みを開始しようとしている団体に必要な要素等。</p>
5. 利用者の増加について	<p><b>①認知度の向上</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆現状、取扱量が少ないことから、ユニバーサルツーリズムの事業を知らない旅行当事者も多いことが想定される。</li> </ul> <p>⇒旅行当事者負担の軽減やサービスの拡充、マーケットの拡大等の観点から、利用者増加のための施策や、広報・PR展開手法について。</p>
6. その他	<p><b>①空白地域の解消</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆地域の支援団体（NPO等）は現状では20弱程度であり、当事者からすると相談をしたくてもできない空白地域が多々ある状況。</li> </ul> <p>⇒空白地域をどのように考えるか等。</p>

